

当院では、2014年3月よりカルバペネム耐性腸内細菌化細菌の保菌が複数見られたことから、右京保健センターの指導及び他院の感染制御チームとの連携の下、対策本部の設置、一部病棟での新規入院の制限、関係設備の拡充など感染防止対策に努めてまいりました。今回複数回実施したスクリーニング検査の結果、新たな感染拡大が見られなかったことから、カルバペネム耐性腸内細菌化細菌に対して、適切な感染予防策が実施できていると判断し、一部病棟で行っていた新規入院の制限を解除いたしました。

宇多野病院では、引き続き感染対策の徹底に努めてまいりますので皆さまにおかれましては、感染予防についてご理解・ご協力をお願い申し上げます。

平成27年8月

独立行政法人国立病院機構宇多野病院

院長 杉山 博